

2018年度標準化推進部会業務報告会 医療情報標準化を取りまく動向について

2019年2月1日
国内標準化委員会
佐々木文夫

目次

1. 今年度制定したJAHIS標準類
2. 国内標準化トピックス

1. 今年度制定したJAHIS標準類

【JAHIS標準】

18-004 JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0	制定2018年12月
18-003 JAHIS病名情報データ交換規約Ver.3.1C	制定2018年08月
18-002 JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.0	制定2018年07月
18-001 JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0	制定2018年05月
17-009 JAHIS 注射データ交換規約Ver.2.1C	制定2018年01月

まもなく発行見込みのJAHIS標準

- 健康診断結果報告書規格Ver.2.0(パブコメ終了 最終原案審査待ち)
- JAHIS ヘルスケアPKIを利用した医療文書に対する電子署名規格Ver.2.0
(パブコメ終了 最終原案審査待ち)
- 内視鏡DICOM画像データ規約 Ver.2.0(原案審査後に改定があったため)

【JAHIS技術文書】

18-101 JAHIS電子処方箋実装ガイドVer.1.1	制定2018年10月
17-108 JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約Ver.1.4	制定2018年03月
17-107 JAHIS IHE-ITIを用いた医療情報連携基盤実装ガイド本編Ver.3.1	制定2018年01月

また、以下の技術文書は旧版とし、17-107を最新版とすることとした

13-101 JAHIS地域医療連携のためのIHE ITI適用ガイド
09-103 地域医療情報連携システム 運用管理システムのサービス機能
09-102 地域医療情報連携システム 患者情報管理のための IHE PIX/PDQ適用ガイド
09-101 地域医療情報連携システム 診療情報共有化のための IHE XDS適用ガイド

【JAHIS標準 OverView】

17-009 JAHIS 注射データ交換規約Ver.2.1C

制定2018年01月

医療システム部会 相互運用性委員会

前版(Ver.2.0C)発行から3年が経過したことと、JAHISデータ交換規約(共通編)がVer.1.1に改定されたことに伴い改定したものである。

併せて以下を見直している。

- ・患者プロフィール情報(※)の定義及びLOINCによる表記
 ※注射指示に必要な体重、身長、妊娠有無などの情報をOBXセグメントに記述
- ・メッセージ構文内のPIDに対する表記規則の見直し
- ・RXA-4(投薬終了日時)のオプション値の見直し
- ・メッセージサンプルの見直し

【JAHIS標準OverView】

18-001 JAHIS HPKI対応ICカードガイドラインVer.3.0 制定2018年05月

医療システム部会 セキュリティ委員会 セキュアトークンWG

HPKI対応ICカードガイドライン第一版と第二版を統合した。また厚生労働省の「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン第5版」など、参照する規格等の最新版に対応すると共に、各種技術の進展に合わせて、事例を見直している。

【JAHIS標準Overview】

18-002 JAHIS病理・臨床細胞DICOM画像データ規約Ver.3.0

制定2018年07月 医療システム部会 検査システム委員会

2015年に発行した前版(Ver.2.0)から3年経過したため、作業開始時点のDICOMの最新規格(2018b)に合わせて改定を行った。

今回の改定では①ビッグエンディアン転送構文のリタイア、②SNOMEDコードの採用、③VR 値追加、④属性マクロ追加、⑤CID 追加、⑥各セグメント内属性追加、⑦各属性説明文の明瞭化を行っている。

DICOM規格は年に数回改定されるほど活発に活動を行っており、改定の中で項目をリタイアすることもある。なおリタイアされた項目は、今後の保守が行われただけで、DICOM 利用者間での合意のもと使用していくことは可能である

【JAHIS標準Overview】

18-003 JAHIS病名情報データ交換規約Ver.3.1C

制定2018年08月

医療システム部会 相互運用性委員会

前版(Ver.3.0)発行から3年経過したために改定した。ICD-10 2013年版による傷病名の選択の義務化などの流れにも対応するとともに、対象範囲として、病名以外にも、アレルギー情報、病名にひもづく歯式情報の送信、感染症・血液型、アレルギー情報、入退院歴、受診歴の照会も含まれている。

本規約は2018年4月に新たにHELICS指針として採択された、HS033 標準歯式コードにも対応がとられている

【JAHIS標準OverView】

18-004 JAHISシングルサインオンにおけるセキュリティガイドラインVer.2.0
制定2018年12月
医療システム部会 セキュリティ委員会 シングルサインオンWG

地域包括ケアの流れを受け、医療情報システムも院内に閉じず、外部ネットワークのシステムと連携することが多くなっている。

外部ネットワークと連携する際のセキュアなシングルサインオンに関して、情報セキュリティマネジメントと個人情報保護の視点から、医療機関とベンダーがそれぞれどのようなセキュリティ対策を行うべきかの観点で改定を行った。

【JAHIS技術文書 OverView】

17-107 JAHIS IHE-ITIを用いた医療情報連携基盤実装ガイド本編Ver.3.1
制定2018年01 地域医療システム委員会
地域医療連携IHE-ITI検討WG・地域医療連携画像検討WG

全版(Ver.3.0)は「HS025 地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」の採択に伴う改定だったが、Ver.3.1ではV3.0 改定後の指摘事項を受けて軽微な修正を行った。

- ・ 3.2.2 項の「患者ID 相互参照問合せ」において、IHE の規定との不整合を修正。
- ・ 9.1 節の「識別子」の記載内容を明確化。
- ・ 誤記の修正
- ・ 改訂された規格等の記載の修正

【JAHIS技術文書】

17-108 JAHIS院外処方箋2次元シンボル記録条件規約Ver.1.4

制定2018年03月 調剤システム委員会

平成30年4月診療報酬改定に対応して改定を行っている。

- ・「処方せん」を「処方箋」に変更
- ・処方の分割指示に対応した2次元シンボルの印字等について説明を追加。
- ・出力サンプルに分割指示の事例を追加。

【JAHIS技術文書】

18-101 JAHIS電子処方箋実装ガイドVer.1.1 制定2018年10月 3部会合同

厚生労働省が「電子処方せんの運用ガイドライン」ならびに「電子処方せん引換証」の様式を策定した旨を公表したことにより、制度上は電子処方せんの実現が可能となり、JAHISでは前版(Ver.1.0)を定めた。その中で実際の運用を網羅した「運用ガイドライン」が示されていないなどの課題も明らかになった。

本規約はH30年7月に厚生労働省から公開された「電子処方箋CDA 記述仕様 第1版」に合わせて改定を行ったものである。

しかし分割調剤への対応や、薬局での電子処方箋の受領取り消しなどの検討すべき課題がまだ残されている状況である。

2. 国内標準化トピックス

【HELICS協議会関連】

➤ 新たなHELICS指針

◆ HS029 患者状態アウトカム用語集ベーシックアウトカムマスター (日本クリニカルパス学会提案)

- 2016年に申請が出されたが、規格として未整備な点があったため、2年の期間をかけて、再整備を行い、1月の理事会で採択された。
- マスタが有償のため、厚生労働省推奨規格に採用されるかは不透明

◆ HS033 標準歯式コード(医療情報システム開発センター提案)

➤ 審査中の指針

- HS030 データ入力用書式取得・提出に関する仕様(RFD)(日本IHE協会提案)
- HS032 HL7 CDAに基づく退院時サマリー規約 Ver.1.0(日本HL7協会提案)
過去一度申請され、仕様書不備で否決され、今回再申請されている
- HS034 口腔診査情報標準コード仕様(日本歯科医師会提案)

【JAHIS内】

➤ 標準化マップの更新と、制定後3年が経過した標準類の改定を推進する活動を行っています。

- 新たに「JAHIS標準類 再検討の委任/回答書」を制定し、各部会に対して見直しをお願いをする計画です
- 見直し要否判断が難しいものは「国内標準化委員会に一任」も可能とします
- 制定から年数が経過し、かつ利用されていない標準類は非アクティブ(旧版)にしましょう

➤ JAHIS標準類制定規約の見直しを行っています

- 改定A(内容の変更を行うもの)、改定B(軽微な修正)などの手続きを分かりやすく、明確にします
- 今後古い標準類を旧版にする手続きを明確にしていけます



健康で豊かな国民生活を保健医療福祉情報システムが支えます

ご清聴ありがとうございました